

Press Release

Monday, January 20, 2014

唯一のレーザー距離計国際規格 ISO 16331-1 適合製品を新たに追加



スイスに本社を置く測量機器メーカー、ライカ ジオシステムズ株式会社(東京都文京区)は、レーザー距離計の国際規格 ISO 16331-1 適合製品を、新たに追加しました。

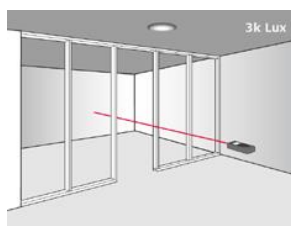
今回レーザー距離計のラインナップに追加された製品は、Leica DISTO™ D810 touch。世界初のカメラ搭載タッチパネル式レーザー距離計です。

レーザー距離計の国際規格 ISO 16331-1 とは？

レーザー距離計には、日本工業規格(JIS)のような規格は存在せず、守るべき基準はありませんでした。そのため、各メーカーが「自己基準」で生産され、精度基準が異なる製品が市場に出回ってしまっています。レーザー距離計の測距精度と範囲を見極めることができる規定は、国際規格 ISO 16331-1 のみとなっています。

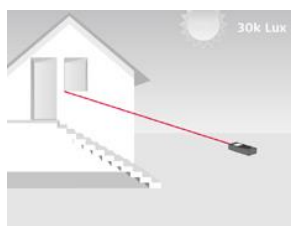
本規格には、精度や測定範囲に関わる情報をどのように示すべきか、測定手順はどうすべきかが詳細に定義されています。これにより、独立機関によるレーザー距離計の仕様検査ができるようになり、同一基準のもとで製品の比較が可能となります。

本規格に記載されている内容の一部です。



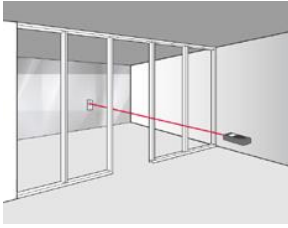
好条件 (主に屋内での測定を想定)

- 周囲の明るさ(3,000 ルクス)
- 測定対象は白い壁
- 室内温度



あまり好ましくない条件 (主に屋外での測定を想定)

- 太陽光の明るさ(30,000 ルクス)
- 測定対象は白い壁
- 周囲の温度範囲



その他

- 定められたターゲットプレート使用時
- 測定対象物の反射が強く、もしくは弱く測定に適さない場合
(金属や濡れたコンクリート等)

レーザー距離計の精度と測定範囲は、周囲の明るさ状況と、測定対象の反射性に影響されます。測定条件が整った研究室の中だけでなく、日常業務でお使いのあらゆる現場で機能することが重要です。

詳細 URL:

http://www.leica-geosystems.co.jp/jp/ISO-Norm-for-Range-and-Accuracy_98536.htm

Leica DISTO™ D810 touch とは？

スマートフォンのように画面をタッチして測定、操作するレーザー距離計です。写真を使って離れたところから横幅、高さ、面積、直径を測定する新機能が追加されました。

写真や、測定画面のスクリーンショットは、USB 経由で PC へ転送可能。測定現場の写真と測定値を 1 枚の画像にできるため、飛躍的にデータ管理業務が効率化できます。



さらに、スマートフォンやタブレット向け無償アプリ『Leica DISTO™ sketch』を使って、測定メモが作成できます。測定結果は、Bluetooth® smart でアプリに自動転送、作成したメモはメール送信することができますので、紙への転記ミスや測定のし忘れを防ぐことができます。

詳しくは、弊社 Website および YouTube をご覧ください。

http://www.leica-geosystems.co.jp/jp/Leica-Geosystems_5061.htm

http://www.youtube.com/playlist?list=PLp-K_WlvbyBUshxG5Ene4iFHJHonqpW2

製品に関するお問合せ先:

ライカ ジオシステムズ株式会社

ツールズ事業部

Tel. 03-5940-3101

Fax. 03-5940-3056

Email. disto@leica-geosystems.co.jp